

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択）

事後評価結果（公表用）

番号	研究名	研究代表者	評価
24-7	津波に強い道路構造物の研究開発	九州工業大学 教授 幸左 賢二	B
<p>＜研究の概要＞ ※成果報告レポートより引用</p> <p>津波に強い道路構造物を実現するため、橋梁の耐津波設計法を確立することを研究目的として、現地調査および数値シミュレーションにより東日本大震災における橋梁被害発生メカニズムを明らかにするとともに、水理模型実験により橋梁への作用力、抵抗力算定手法を提案した。</p> <p>＜事後評価結果＞</p> <p>橋梁以外の道路構造物と水理的な裏づけに関しても引き続き研究開発を進める必要があるものの、橋梁に関しては構造物被害の状況を丹念に調査・分析し、耐津波設計の確立に向けて作用力、抵抗力を求めたことの意義は大きい。研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。</p> <p>＜参考意見＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 橋梁の「耐津波設計」を確立するために必要な検討項目をあげ、それらに対する成果が示されるとともに、設計の具体的な考え方が示されているものの、研究成果の体系的な整理、実用的な利活用について更に整理が必要である。 今後は、道路盛土など道路構造物全般への適応を図るとともに、水理的なメカニズムが裏づけられることを期待する。 			

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第27回新道路技術会議において審議したものである。